



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

不況で苦しむ市民を 応援するメッセージ

福田明議員の一般質問から

2010年第1回
定例3月議会

3月11日におこなわれた市議会本会議における日本共産党の福田明議員の一般質問の概要を報告します。

いち早い市長の 英断を評価する

〔福田明議員〕昨年12月の議会で「市内の高校

生の就職内定率がきわめて厳しい。市も対策を講じるべきである」と質問した。これにこたえて、いち早く「重点分野雇用創出事業」を実施すること

を明らかにした市長の英断を高く評価する。この事業の内容はいかがか。

〔白橋茂市長公室長〕

成長分野として期待されている「介護」「医療」「農林水産」「環境・エネルギー」「観光」「地域社会雇用」の6分野で雇用の創出と人材育成を目的に、国の補正予算でつくられた「緊急雇用創出事業」を拡充させたものである。

雇用期間は1年で、今年度末で閉校となる北茨城高校および磯原高校の就職未定の卒業者が多いことに配慮し、本市においては50名の雇用枠を確保すべく取り組んでいる。

〔福田議員〕企業数と求人数はどのような状況か。

〔市長公室長〕失業者を雇用する事業者の協力が必要で、2月1日から募集をおこなった結果、23事業所から62名の応募があり、審査の結果、19事業所で49名の雇用枠を確保した。

〔福田議員〕19事業所



歯平に植樹

華川小・中学校の児童・生徒はじめ約200人が参加して、歯平青少年の家跡地にブルーベリー200本、桜25本、もみじ15本の苗木を植樹。(3月14日)

の内訳は。市の外郭団体等も含まれているのか。

〔市長公室長〕介護分

野6、農林水産2、環境3、観光6、地域社会雇用2となっており、事業所は、企業が12、NPOが3、それに市商工会、農協、歯平ふれあい財団、市社会福祉協議会である。

新病院についての 協議会設置を

〔福田議員〕今年、

新市立病院建設にむけて大きく動き出す。新設予定地は上段、中段、下段と3つに分かれているが、基本計画の配置図面では中段のグラウンド跡に病院が配置されている。残りの上段、下段は、将来的に保健センターや介護施設が併設されることとなるのか。

〔石田奈緒子副市長〕

病院の配置については、これからの基本設計において具体化していく。特殊性、専門性があるので専門の建築設計事務所にゆだね、その選定は、より良い提案をいただくプロポーザル方式(裏面に解説)とする。病院とし

〔福田議員〕この事業

の政治的な意義は、市が深刻な不況に苦しむ市民を応援するというメッセージを県内どの市町村にも先駆けて発したことがある。1年間という期限付きだが、新卒者をはじめ市民の雇用創出につながることを期待する。

この機能性・効率性・利便性を考慮し、さらに近い将来、保健センターや介護施設の併設を含めた一体的な敷地利用計画をそれぞれの業者に提案いただき、そのなかから選定したい。3段の敷地をそのまま使うか、あるいは2段にするか、1段にするかは、造成費用や効率性の観点から検討する。

〔福田議員〕新病院の

総事業費は約45億円で、財源内訳は病院事業債31億円、自己資金6億円、国・県の補助金・交付金8億円である。全体の約7割を占める事業債だが、現在の経営状況のもとで認められる見通しはどうか。

〔副市長〕きびしい経

営がつづいており、今年度は約2億7千万円の赤字が生じる見込みである。

みなさんお誘いあわせて

- なくそう貧困!いのちと暮らしを守る春の県民大集会
水戸駅南平和公園
4月3日(土)
13:30~15:00
- 中郷石岡さくら祭り「十石堀探索ツアー」
4月11日(日) 先着50名 小学校4年生以上、それ以下は保護者同伴。問合せは市役所商工観光課

起債許可を得るには、公立病院改革プランおよび経営改善健全化計画に沿った経営基盤の確立、不良債務の解消が求められる。病院職員はもとより、市職員一丸となって経営の健全化につとめ、新病院建設をめざしていく。

〔福田議員〕4月から

の医師の体制はどうなるのか、また地域医療連携の具体的な施策についてうかがう。

〔高間俊幸病院事務部長〕3月現在で、常勤医

は産婦人科研修医の1名を加え15名。4月から新たに外科2、脳神経外科1の3名の常勤医の入職が決定している。また県派遣の内科医2名と、へき地診療を担う非常勤の内科医が入れ替わる。

したがって、4月から

は内科医5名、循環器内科2名、外科3名、麻酔救急科1名、脳神経外科

2名、産婦人科3名(うち研修医1名)、眼科1名、歯科1名の常勤医18名および非常勤20名の体制となる見込みである。ただし4月末・5月末で、1~2名の医師退職の可能性がある。

地域連携については本

市の滝病院や大平歯科、いわき市の渡辺歯科と画像連携等をおこなっている。

〔福田議員〕本当に良

い病院とは「市民のニーズにこたえた病院」である。それを議論するために、医療関係者、行政、市民が参加する協議会の設置を求めたい。

〔豊田稔市長〕協議会

になるか市民委員会になるかは別として、市民から求められる市立病院を構築していきたい。

※このほか、乳幼児医療費の無料化、国民健康保険について質問。